

◇次週礼拝◇

説教 み言葉を行う

中沢 譲牧師

聖書 新約 ヤコブ 1 : 19-27

讃美歌 149 141 65-2 92

ご自宅での礼拝をお願いします。

*子どもの教会は、短縮礼拝を継続
しますが分級は行います。

◇報告とお願い◇

次主日礼拝後、子どもの教会リーダー会があります。

週報、役員会報告、会計報告などの印刷物は、毎月第四主日に会員に発送します(8月は27日の郵送を予定)。また、主日礼拝の「説教プリント」を作成しています。週報のメール配信と共に説教も配信します(配信希望者はHP担当まで)。「説教プリント」は、希望者に郵送もできます(希望者は牧師まで)。YouTubeでの礼拝限定配信の希望者は、中沢譲牧師のメールアドレスにご連絡ください。

子どもの教会では、8月は「平和月間」として、以下のようなスケジュールで礼拝を守ります。分級は子どもの出席者があれば行います。

○ 8月20日(日)

説教 へいわってどんなこと?

I.M

聖書 マタイ 5 : 9

○ 8月27日(日)

説教 心の平和

H.Y

聖書 IIコリント 12 : 10 より

◇今週の誕生者◇

O.Tさん M.Mさん S.Rさん

S.Yさん

◇集会状況◇

集会	日	出席
CC 子ども	6	2
おとな	6	10
成人クラス	6	3
主日礼拝	6	46
社会委員会学習会	6	16

*学習会出席数はYouTube視聴含まず

◇牧師室より◇

まだ若かりしころ、学びや仕事の場面において、先輩方に求めた理想は、平素は寡黙で、適時に正鵠を射たことをバシッと言い、有言実行する姿だった。しかし、時を経るにつれ、解決されていない疑問や根本的でシンプルな問いを、警戒心なく開陳しあい、共有できる同僚や仲間の

存在に有難みを感じるようになった。

いま、平和について思い巡らす時、自分自身について、賢そうに黙っているより、愚かなことでも口に出すほうが良いのだと、胸の内にくすぶる危機感が主張しているのを感じる。

私が、懲りずに口に出していることの一つ。それは、自衛隊を解体して、海外派遣もできる災害救助隊を持つ国になりたい、ということだ。

この夏の酷暑といい、世界各地で起きている異常気象による災害の被害甚大さといい、もう人類は互いに戦争したり紛争したりしている場合ではないところまできていると思う。

互いに威嚇し合い、攻撃しあう武器を蓄えることや、「有事」に備えてそれを使う訓練を積むことよりも、災害で失われる人命を最小限にすべく、救助のための技量を磨くことのほうに意味と必要があるのではないか。軍隊の殺傷能力を高めるための訓練と救助隊の人命救出のための訓練とは、目指す方向が全く異なる。自衛隊に災害対応も任せるとするのは、大きな矛盾を含んでいる。災害救助隊で平和外交をする国。賛同者がいないものだろうか。(中沢麻貴)

◇本日の集会◇

定例役員会

◇ようこそ教会へ◇

初めて教会に来られた方、学校の紹介で来られた方、歓迎します。

◇新型コロナウイルス予防対策◇

7月役員会で、コロナ感染の再拡大の状況について検討し、8月は、礼拝のプログラム短縮は継続しますが、短い後奏を加えることにしました。
また、月初めの聖餐式も行います。

*来会されたら、まず入口で手指の消毒をお願いします。礼拝中も、マスク着用をお願いします。

*なるべく間隔をあけてお座りください。

*礼拝中は、会堂側面の窓を細く開け、天井の換気扇で換気します。

*発熱や咳など体調不良の方、ご家族に症状のある方は、来会を控え、